

内 志 团



こころ
・からだ
・つながり

二〇一五年度 事業方針

社会福祉法人 北海長正会 理事長 三瓶 徹

今年度は法人事業の

持続的イノベーションを考える年

一 地域の幸せを創造する

拠点として

法人は来年五十周年を迎えます。今
年は、これまでの半世紀を振り返り、
これから半世紀に向け法人としての

持続的イノベーションを考える年で

す。法人は地域の幸せを創造する拠点
として、今年度は五つの大きな方針を
立てました。

① 超高齢化の団地地区に 求められる法人の力量

現在、団地の約半数が高齢者で、後
期高齢者が三人に一人でフレイルによ
る身体機能の低下による病気やケガの
リスクが高くなり、独居高齢者の孤独・
孤立化など益々法人の力量が求められ
ます。

② 障害を抱える人の 自立支援と地域移行

在宅における知的及び精神疾患を有

する人が増加しております。地域との
つながりを育て、相談業務やケアの質
の向上を図り、障害を抱える人の地域
移行や自立支援に努めます。

③ 大規模修繕を機に

施設の大規模修繕を機に、サービス
を振り返り、質の向上と働きやすい職
場に変えていきます。IT化など機器
の進化が目覚ましく、それらの活用で
お客様の喜びや幸せにつながる大規模
修繕を目指します。

④ サービスの在り方を振り返る

サービスの大規模修繕を機に、サービス
を振り返り、質の向上と働きやすい職
場に変えていきます。IT化など機器
の進化が目覚ましく、それらの活用で
お客様の喜びや幸せにつながる大規模
修繕を目指します。

⑤ 健康寿命延伸や 孤立・孤独対策に向けた取り組み

フィットネス事業で心と体と社会と
のつながりを大切に健康寿命の延伸に
貢献します。また、障害者施設の空き
室をサービス付き高齢者向け住宅に転
用し独居高齢者の孤独・孤立への対策
として貢献します。

⑤ 地域共生社会の実現に向けた

三位一体の取り組み

地域共生社会の実現には住民、行政、
事業者の三位一体の取り組みが欠かせ
ません。特に、住民の力として市民
スタッフの活動はこの地域を支えてい
く大きな力です。「住民一人ひとりが
自ら選択する方法でつながりを持ち、
参加が可能となる環境を整え」幸せを
感じられる風土づくりに努めていき
ます。

二 ウェルビーイングとしての フィットネス事業の創設

後期高齢者の フレイルが課題！

私たちの事業は全人的（身体的・
精神的・社会的）な視点をもつてお
客様に関わることが求められており
ます。これまで高齢者や障害者制度
で対象となるお客様にサービスを提
供してきましたが、介護保険の対象
となる方は高齢者の二割弱であり約
八割はサービスを利用されていない
方々です。超高齢化社会にあって身
体機能が低下する後期高齢者のフレ
イルが課題となっています。健康
を良好な状態で保つためにはご自身
の身体状況を理解しそれを維持する
ための運動や社会的な関りは欠かせ
ないものです。

皆で楽しく幸せに 健康寿命の延伸を！

当法人のフィットネス事業では、お
一人お一人の身体状況を理解しそれに
応じたフィットネスを提案するととも
に、人と人のつながりを大切に楽しく
活動できるように工夫していきます。

利用されるお客様で趣味を同じくする
人のサークルやイベントの開催、健康、
介護、終活などについて相談や講座・
講演を行い安心して暮らせる情報を提
供していきます。ともにやふれての地
域交流事業とも連携し「楽しく」「幸
せに」をキーワードに健康寿命の延伸
を図っていきます。

フィットネス事業の創設！

これからの事業として制度対象者に
限らず全ての住民を対象とするフィッ
トネス事業を創設します。法人は介護
予防の視点から超高齢化する団地住民
の健康寿命の延伸について模索してお
りました。はからずも国の補助による
生涯現役地域づくり環境整備事業で地
域の方々によるワークショップを行っ
たとき、もっとも多数を占めた要望が
フィットネスでした。その整備事業の
協議会から当法人にフィットネス事業
創設に向けた依頼がありました。北広
島市の企業版ふるさと納税の補助金で
二〇一六年四月の開業に向け準備を進
めることとなりました。

人生100年時代を楽しむために 『健康』が一番！ 北広島の健康寿命延伸！ 心と体をつなぐ コミュニティフィットネス

2026年
4月
OPEN!
予定



つながりを育むフィットネス



地域住民の皆さんへ、新しいフィットネスプログラムのご案内です。運動と人とのつながりを同時に育む取り組みを始めます。

健康的な体と豊かな地域コミュニティと一緒に作りましょう。どなたでも参加できる場をご用意しています。単なる運動施設ではなく、心と体の健康を育み、世代を超えたつながりを生み出す場所を目指します。

●運動

セミパーソナルトレーニング

あなたの「～したい！」を叶えるボディメイクプログラム！

●学び

専門職によるミニ講座（栄養・睡眠・生活改善等）を開催

●交流

運動後に喫茶コーナーで歓談

仲間と一緒に継続！

新しい友達と一緒に楽しく続けることで、健康と絆が同時に育まれます。



「地域の幸せを創造する拠点として、ウェルビーイングを描く」

～2025年 四恩園 各事業所の事業計画～

地域サポートセンター四恩園

北広島市富ヶ岡509番地31



特別養護老人ホーム

入所時から終末期までの関わりにおいて私達も共に寄り添います

専門職の連携

四恩園の入所時から終末期まで、優しい「
寧な応対、個別に配慮した「生ききる支援」
を基本理念に照らし多職種連携・医療連携を
実施し、お客様の居心地と安全な生活環境づ
くりを目指します。



お客様、職員双方にとって生活の中に楽し
み発見、丁寧な日常生活ケア、権利擁護に向けた
認知症ケア、終末期ケアに努め、職員の介護
技術向上と適切な福祉機器を活用した生活空
間の提供を目指します。

(清水
孝修)

技術向上と機器の活用

お客様、ご家族、職員、みんなが元気に喜
せになれる「サービスを作っていくう

四恩園デイのファンを増やしたい

私たちには相談を入れ機能の強化と、デイサービス内外の連携協力体制の充実を図ります。そして見学や体験で繋がった方々とのご縁を大切にし、楽しい時間を過ごして頂き、本利用へと繋げます。気持ちの良い丁寧な対応を心がけ、一人ずつ四恩園ディのファンを増やし、その想いを大切にすることをお約束します。



お客様のやる気・元気・活気を引き出したい
私たちには認知症や障がいにより要介護状態にあつても、住み慣れた地域で暮らし続けられるようご家族や関係機関との繋がりを大切にします。お客様の社会参加を支援し、楽しみながら心身機能が維持できるサービスを提供します。

関係職種（介護・看護・リハビリ）の連携を深め、最新福祉機器や先進的取り組みも視野に入れ多様なニーズに応えていきます。

デイサービスセンター四恩園

お客様が自分らしくあるために
寄り添い続けるたとみ

サービスの質向上に向けて

一軒家、少人数、個別に対応できる「デイサービス」を生かした活動を皆様と一緒に考えていきます。基本理念に従ったサービスの実践、チームワークお客様に真摯に向き合う姿勢を常に心がけ、お客様の「行きたい。食べたい。楽しみたい。」といつも声の満足度につながるよう取り組みます。



職員のより良い「ミニユースーション作り、年齢層を問わず生涯現役で働ける優しい環境づくりで働きやすい楽しい職場を目指します。「心のゆとり」が職員、お客様の笑顔を生みます。地域との交流つながりとして、さとみで開催されてくる「お茶の間」、地域のお祭り等の協力、参加を継続します

施設の環境整備

お客様の健

お客様の健
康・安全を守り、
快適な環境で
過ごせるよう、
また、地域の中
にある一軒家と
して、町内にと
けこむ施設で
在るよう努め
ます。

(深田 なつ恵)

地域交流ホームふれて

地域交流ホームふれて

北広島市白樺町1丁目8番地2



地域住民の笑顔が増える「公益的な取り組み」を目指し、明るい未来を次の世代へつなぎます

つながりが生み出す笑顔

市民スタッフが主体となって運営している喫茶コーナーでは毎日地域の方が「コーヒー」を飲みながら談話をしています。人と人のつながりが生み出す「笑顔」がまた次のつながりをつくっています。



一歩前へ踏み出す力

「人と人とのつながりから生きることの喜びを知ろう」をスローガンの元、地域交流ホームふれは開設十五年目に入りました。人生100年時代を生きぬくために必要な力の一つが「前に踏み出す力」だそうです。この地域でいつまでも幸せに暮らし続けるように、世代や障がいを超えて手を取り合い、更に一步前へ踏み出すことができるように活動を続けていきます。

(小野崎ひとみ)

デイホームかたる

更なる高みを目指して

より多くのお客様へご利用頂くために

一日の定員と照らし合わせより多くのお客様にご利用頂けるよう、新規受入の相談機能を充実させていきます。一人でも多くのお客様が「ハレ」に通つて「良かった」と思って頂けるよう力を入れていきます。

お客様満足度向上サービスの実践

1015年度よりサービス提供時間の短縮を行い、より内容の濃いサービス提供に努めると共に、過ごし方のバリエーションも幅広く、さまざまな楽しみ方を味わっていたける「かたる特化型メニュ」を創出します。

チームワークの向上

前年度以上に職場内コミュニケーションの場を作り、お客様同士の個別・集団などさまざまなかたちで話し合える場を作り、お客様へ提供するパフォーマンスを職員が最大限発揮できるチーム作りを行います。

(林 昇市)



みなみ高齢者支援センター

住み慣れた地域で暮らすために、
地域住民・関係機関、市民スタッフ等と連携し、「楽しい」から始める地域活動の場づくりに力を入れます

地域住民が楽しみながら社会参加が出来る活動の取り組み

楽しみながら体を動かす「ボッチャ」「モルック」等のニユースポーツをふれでから団地地区全体に拡げていきたいと思います。ニユースポーツで集まり、体を動かすことで地域の輪を広げていきます。



高齢者とご家族を支えるために、地域の行方不明者ゼロのまちに

毎年、団地地区でも行方不明者の方がおられます。地域の力で発見できる仕組みとして、市役所と連携し、SOSネットワーク登録者1,000人を目指したいと思います。また、模擬訓練を開催し、地域の皆さんで考え、安心できるまちづくりを進めていきます。

(畠田 忠司)

地域サポートセンターとともに

複合型サービス

サービス付き高齢者向け住宅しおん

地域サポートセンターとともに

北広島市緑陽町1丁目2番地



みんなで目指す、
持続可能なウェルビーイング！

フィットネス事業開始までの準備期間として

二〇二六年四月よりフィットネス事業をスタートします。体育館を活用し、セラピストを配置した全世代型のフィットネス事業です。この取組は、介護保険制度外の独自事業として要介護状態になる前からのウェルビーイングの状態を目指し継続する実践であると共に、趣味特化によるつながりづくりを目的として、この一年間を事業開始準備期間とします。

ワクワクと面白がり力を発揮

ともに市民スタッフ等による活動の継続、生涯現役地域づくり環境整備協議会から生まれたドッグランや北広島産木材を

活用したトーチづくりなどにおいても、三位一体となつたマンパワーによる共生の理念の基にワクワクと面白がり力を発揮しながら取り組みます。

丁寧な言葉遣いを徹底します

法人の基本理念の一「信頼は接し方から」。職員一人ひとりが常に意識することで、お客様の笑顔につながるはず。おはようからおやすみまで、お客様のお元気な声が絶えない、みんなで笑いながら過ごせる空間を目指します。

「ともに生きる」住まいへ

※ウェルビーイング・個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される。
[世界保健機関（WHO）より]

大切に丁寧に関わり
安心できる空間に

毎日提供させていただくケアこそ

大切に丁寧に関わりたい

「美味しい」と感じていただける食事、「気持ち良い」と感じていただける入浴、「心地良い」と感じていただける排泄ケアを目指します。その日、その時のお客様の心身状況に合わせて、最高のケアを提供します。

根拠ある「認知症ケア」を実践します

認知症のお客様も多くご利用いただいている。私たちの関りで、その不安を少しでも緩和できるように、お客様のその時の困り事に寄り添いながら一緒に考え行動し、安心して過ごしていくだけの時間を共有していくきます。

健康状態の見える化と自立支援

健康状態の見える化、各種体操や行事の実施、医療・介護サービスとの連携により、お客様の自立を支援します。体調変化の把握と健康の維持向上に向けた取り組みを強化します。

安心・安全な住環境の維持

感染対策や生活支援を徹底し、安全快適な住まいを維持します。建物の管理や職員研修に力を入れ、お客様が安心して暮らせる環境を維持します。



(向山 篤)



(奥山 智直)



(玉置 亜矢)

ホームヘルプサービスステーション

訪問看護ステーション

居宅介護支援事業所

地域にホームヘルパーを増やしたい!
近未来に思いをのせて

在宅介護における

ホームヘルパーの専門性を高め、
新人ヘルパーの獲得と育成をします



(吉永 美香)

ホームヘルパーの魅力を地域に伝え、ヘルパー人員を増やすことに取り組みます。介護体験会などの取り組みを行います。在籍しているヘルパーは介護経験十年以上選手がほとんどです。新しい風を取り込みながら、活性化したヘルパーステーションになれるように取り組みます。

地域密着サービスや訪問介護サービスを

利用されている方が地域のつながりを感じ
住みやすい環境作りに参加します

一人で外出方
のサポートを行
い地域の活動参
加を個別支援で
します。

(吉永 美香)

心身ともに元気を目指す、
身近なホームナースステーションを

目指します

在宅医療と連携を強化、

個々の思いを尊重した生き方を大切にし、
より良く生きるを支援します

ACP（アドバンスケアプランニング）に取り組み、一人一人の人生間を大事に「今をより良く生きる」ことを支援します。在宅リハビリーションを取り入れ、個別で外出ができるような取り組みをします。

地域の健康をささえる活動に取り組みます

北広島市内で普及している「エルフインバトン」の活用を広げるために、定期的に整備をする活動を行います。救急要請した時の医療情報を速やかに伝えることで緊急時対応が滞りなくできることを目指します。また、制度外で看護師やリハビリ職員が活動可能にするための自費サービスのニーズに応えていけるように整備をします。



(吉永 美香)

つながり続ける事を創造して

私たちケアマネジャーは、法人の理念「ノーマライゼーション」「自立支援」や共生の理念に沿って、社会的に孤立した「助けを求められない、求めない」人に関わり続け、その人が抱えている問題解決とあわせて、つながり続けることを目的とした関係を形成する「伴走型支援」を大切にします。同時に、多様な生き方の人がつながれる様々なつながり先を地域に創造する働きかけを大切にし、以下の実践を行います。

一. 判断能力が低下した人への意思決定支援を大切にします

二. 認知症や障がいの正しい理解により偏見や差別を生み出さず、孤立した人がつながることのできるつながり先を創造します

三. これからもずっと、きたひろしまを支えるソーシャルワーカーを育成します

(新沼 右文)



「健康であり続けていくことは」
を追究し、自分らしく暮らしつづける
ことを継続的に支援していきます

お客様の人生の楽しみを理解し、実現
することで生活の質の充実を図ります

それぞれの生活習慣や環境、既往歴などを理解し、
その時代背景を創造し支援していきます。活動的な
日常生活の充実を図り、心身ともに健康に過ごすこ
とに取り組んでいきます。

人材確保に向けて働き甲斐のある職場

環境の充実をめざします

介護負担の軽減を目的とした、介護ロボットの
検討やお試しの活用の実施。また、他事業所とも
連携し、在宅サービスなどの取り組みなど認知症
になつても地域で暮らすこと、地域の力、思いを
理解しサービスの質の向上に努めます。

専門性の追求

私たちが求める食事は、栄養管理を徹底すること
はもちろんのこと、『食べる喜び』『四季
折々の食事』などを提供できる給食サービス課だ
と思います。月一回地域サポーターセンターとともに
で行つて地域食堂では、手作りのスイーツや
幅広いメニューや旬の食材を取り入れ、お客様・
ご家族・地域の方々に喜んでもらえるように今後
さらに力を入れて取り組んでいきたいと思います。

調理法や切り方の工夫、食材の盛り付けなど、
どう美味しくなるかを追求しています。毎日の献
立は、一人一人の身体状況や嗜好性などもあり難
しいところもありますが、食事の時間が楽しいと
思えるようなメニューを考案、作成していくた
いと考えています。四季
折々の食事を提供し、季
節の移り変わりを食事を
通して感じ楽しんでいた
だくことや、行事食やイ
ベントメニュー、地域の
お祭りにも力を入れて取
り組んでいきたいと思
います。(皆木 有子)

出店メニュー

飲み物
等
桜もち
やきとり
コロッケ
ジンギスカンうどん
たい焼き

ステージ企画

北広島リハビリセンター 更生太鼓
白樺高等養護学校 太鼓部
緑陽中学校 合唱部
ハッピージャンプ
じゃんけん大会
だいこんマンボ
ラディッシュバンド

第2回 竹山桜まつりを開催!

とき 一〇一五年五月十七日(土)
ところ 北広島リハビリセンター 桜庭園



アクセスマップ



問い合わせ先：北広島リハビリセンター
TEL 011-373-1711

この広報誌のアンケートにご協力を
お願いします。こちらから↓



●発行者 社会福祉法人 北海長正会

●住 所 〒061-1153

北広島市富ヶ岡509-31

●T E L (011)373-6655

●F A X (011)373-6611

●ホームページ <http://www.shionen.or.jp>

●E-mail tokuyo@shionen.or.jp

●編集発行 広報委員会

●編集発行責任者 理事長 三瓶 徹

●発行日 2025年5月

